

## ワーゲニンゲン大学(WUR)と山口大学(YU)の交流推進プロジェクト

研究代表者: 大学院創成科学研究科(農学系学域)

教授 執行 正義(SHIGYO, Masayoshi)

### 狙い:

QS世界ランキング1位(農学・森林学)に位置するワーゲニンゲン大学と以下の三つの研究分野において連携を進めることで、本学の生物ならびにライフサイエンス分野の研究力向上に資する取り組みとする。

### 連携研究分野と目標:

1. 植物遺伝資源・育種 (YU:3名, WUR:5名, 学外:6名)
  - ✓ 世界初の巨大タマネギゲノムの完全解読
  - ✓ 各種バイオリソース(レタス、ホウレンソウ、イチゴ等)を用いたオミクス統合解析の植物工場専用品種開発への応用
2. 植物工場 (YU:3名, WUR:2名)
  - ✓ 専用品種による植物工場野菜の生産性と機能性の向上
  - ✓ 生物系と環境工学系のビッグデータ統合による生産管理技術の体系化とそのトランスレーショナル研究
3. 基礎・応用植物科学 (YU:10名, WUR:2名)
  - ✓ 光に対する植物の細胞応答機構の解明
  - ✓ 生活習慣病に対する予防効果のある食品成分の同定とその産業利用



### ゴール:

- ✓ 三つの分野における研究成果を蓄積して大学間学術交流協定の締結
- ✓ 国内外の農業・食品関連産業の発展を支えるフードバリューチェーンの根底を担う「山口シードバレイ」構想の実現化